

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

3月中旬、まだ肌寒い時期だがソフトボール審判への派遣の時期を迎えた。千曲市戸倉体育館グラウンドなど9会場に、山梨県・埼

玉原・群馬県・新潟県・長野県の女子中高生の37チームが参加する「第5回チャレンジゲーム」。3日間の日程で130試合の強行日程だ。試合時間を80分で区切り、より多くのチームと対戦する試

合体験の練習を目的とした内容。参集する審判員総数も限られるが、ルール改正等の変更部分を確認するシーズン当初の審判に審判員も真剣になる。試合終了ごとに、お互いに反省事項を確認できる

受け身の知識取得より、伝える立場での知識取得の必要性について考えてみませんか

ソフトボール協会の審判員伝達講習会、3月下旬、安曇野市で開催された中信支部の伝達講習会で、実技講習の講師を体験したためか各審判員から意見を求められる場面が多かった。県の審判部の役員

から「他の模範になる立場を意識するよう」と、細部まで指導を受けることができ

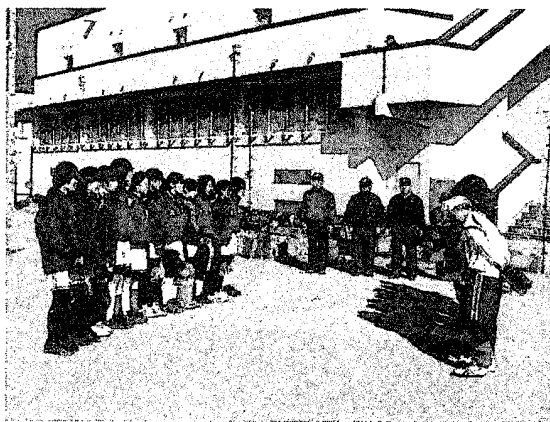
た。今まで指導を受ける立場で学んだルールの知識取得とは異なり、他の審判員に伝達しなくてはと意識して

ソフトボール協会の審判員伝達講習会、3月下旬、安曇野市で開催された中信支部の伝達講習会で、実技講習の講師を体験したためか各審判員から意見を求められる場面が多かった。県の審判部の役員

「審判員は大変でしょう。何が楽しいですか」と聞かれることが多い。「1番の理由は、球技スポーツが好きと答える事が多い。だが私にとっても、1番楽しい事は、審判員となって実現した人との出会いだ。審判員にならなかつたら出会えなかつたと思う人達。共通の知識を分かち合える交流体験の機会は限られる。また、多くの分野で活躍する人たちの出会い、思いもよらない場面を作り出す。

長野県ソフトボール協会の総会終了後の懇親会。会長と話す機会があった。「東京オリピックの正式種目に

ソフトボール競技が注目されている。長野県のスポーツ振興が盛んな事が実感できた楽しい出会いでもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)



5月には、全国大会の地区予選を迎える選手達、目標を持つ目の輝きに寒風も負けずまいそうだ

ソフトボール競技が注目されている。長野県のスポーツ振興が盛んな事が実感できた楽しい出会いでもあった。(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)